高知県立日高特別支援学校

《重点取租項目》

(評価 A:目標を十分に達成 B:ほぼ目標を達成 C:やや不十分 D:改善を要する)

\ = #4						1			
	項目	取組ねらい【P】	現状と目標【評価指標】	具体的な取組内容【D】	中間評価 [C]	中間評価後の取組内容【P·D】	年度末評価【C】	学校関係者評価	見直しのポイント【A】
専門性の向上	生かり	○主体的・対話的で深い 学びの視点に基づい た授業づくり及び授業 改善	〈現状〉・研究授業を実施しても、最 使ご問題を認定さる動的というす。快報 使ごと認定が表面がよいます。快事門写 による指導・助言お必要でかる。 学部結構等・助言お必要でかる。 「学品情報〉・学品報分析をも活用し、授業づくり 人工程業改革が一ム」による評価 「投業の企業といって、学部間で申 役業の企業といって、学部間で申 の学習者能分析表の必需が明られた。」	①民意改善于一人全編制 研究按及定当所包集を参數 - 提高於公園集新的政策 - 提高於公園集新的政策 - 提高於公園集新的政策 - 銀元是數一年間2回其能 - 2 研究提案一年間2回其能 - 3 研究提案一年間2回其能 - 6 研究提案—包押提案の投票者 - 6 研究提案—包押提案の投票者 - 6 研究提案—包押提案の投票者 - 6 研究提案—包押提案—包集者 - 6 研究是一位,一指導,助言。 - 1 主体的,对插的で深い学习。包集还	①授業改善ゲームにと枝業 参展及び研究圏は他のたっ とかできている。 ②研究投票を表している。 ②学部選長が食は昨年度 ③学部選長(6月)に対 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	②学能主事の負債軽減を包含かた。大 素を観める見を物で、原性した機能が 取りまから発情で発生したした。 取りまからまから、 ないまからない。 ないまからない。 の学習者を分析表の活性になっての意見 を切りまから、変形が研究をと (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	①経業改善デームの費利が研究業金を搬し、賃業についてアレベステルとかできた。 でアレベステルとおできた。 ・ 計画の上のできた。 ・ 計画の上のできたさら、 ・ 計画の上のできたさら、 ・ 対画の上のできた。 ・ はいては、火が学館でも、学 当場を分析を提供的に用い、実験を研究が行えた。 ・ はいが明確では、大学教授から学習過程分析表に基づき、付 セルを使用してジーケープ制度のプリカリスは本的に示され、ど の学館でも導入したところ活象に封備が行われた。		成果物である「学習過程分析表」 を日常的に店用できるように改善 する。 民業参観については、ビデオを用 いて行い、グループ対議の時間を 場保する。 今年度の風を次年度も継続す るとしてやり方に慣れ、定着させ 授業改善に向けてより充実した封 議を行い、投業改善の仕組みとし て携築する。
キャリア教育の充実		〇キャリア発達設施に応 じた運動が表現の推進 及び運動指導の光度	く現状) ・保管工程の実施形態のためのキャリアを接続を持たり場合では、 リアを接続を持たり場合でエスルト シートの有効が用いたけでから、 でいたからに、表質・差額をの確保が を変である。 ・「経過性学のキャリア発達に基づいて が表別を指すいたが、 ・差別を指すいたが、 ・差別をは、まずいたが、 ・差別をは、まずいたが、 ・差別をは、まずいたが、 ・差別をは、まずいたが、 ・差別をは、まずいたが、 ・差別をは、まずいたが、 ・の表別をは、まずいたが、 ・の表別をは、まずいたが、 ・の表別をは、まずいたが、 ・の表別をは、まずいたが、 ・の表別をは、まずいたが、 ・の表別をは、まずいたが、 ・の表別をは、まずいたが、 ・の表別をは、まずいたが、 ・のの表別をは、まずいたが、 ・のの表別をは、まずいたが、 ・のの表別をは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□中リアを最近勝利による実施世段及 空後アナセストトレート(2型アセスト のでは、「東京の大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大	①年度当初の美態確認は実施 ②教がアセスメトト(B型 アセスメント)は、高等等部域 指導に活用して連絡 当の企業センノルを離れて連絡 をしたが、フリースを取れたという。 (国際の発生、関加して取り組むた) にしたい。 (国際の発生、関加して取り組むた) (国際の発生、単一など、10年度 (国際の発生、中の同意会において、 (国際の発生、中の同意会において、 (国際の発生、中の同意会において、 (国際の発生)、「日本の一般の (国際の発生) (国際の発生) (国際の	□中度東評価に向けて、キャリア是金を使 で取組みを実施してい。 ②引き締念、東方アセスメンートを活用 で変態程度と、大きない、連絡解像に食な ③①したをレンル、で無能理をし、生後各 自に合う実習と、連絡をの確にとなるともとり取組を維修する。 ②のしたをレンル、で無能理をし、生後名 もしつう実習と、連絡をの確にとなった。必 要な事件を進格が習に取り入れて歌地 が同じない。 「別してション・がてにない。 「別してション・ケンにない。」 「別してション・ケンにない。」 「別してション・ケンにない。」 「別してション・ケンにない。」 「の連絡を取りの内容から卒業セのニーズを把 別している。 「の連絡やリードを計画的に実施してい 「の連絡やリードを計画的に実施してい 「の連絡やリードを計画的に実施してい 「の連絡やリードを計画的に実施してい 「の連絡やリードを計画のは、一定施し、 本体度表別に向けて計画して敬知と、 本体度表別に向けて計画となる。 本人一プホーム等の見学に取り組む。 他の事の事のまない。 「の事の事の事の事の事の事の事の事の事の事の事の事の事の事の事の事の事の事の事	①学校での指導のための世級となら2担性がオックしてい	対して研修会を行う等、保護 者が知りたいことを情報発信で きており、評価できる。 高1から事業所見学を取り入 れるなどの取組があり、生徒が 具体的に泄路についてイメー ジできるよう努力している。	小学部、中学部、高等部、寄宿舎 の連携を強化し、系統性のある一 貫した教育内容・学習内容を年間
学材設定項目	オスポーツの	○体育、クラブ活動の充 実	《尿状》、 心地線の総合型×ボーックラブとの連携 や合様スポーップ大会・の参加に取り組 水できたが、通路やも支腕体室の ボーックの変観に結びかいていない。 (学路情報) (体育の投業に、経音者×ボーッの破失 個日を切り入れ、スポーップ(経) (株1日に上地なり後)等、ペップラブ 等を利用することができたか、 の多の生徒が、各種ペポーツ大会へ参加できたか。	①体育の投棄に、障害者 エボータの度 技権目の導入ボータクライとの連携 支援・ファットの連携 エボーツ指導員等の指へ、決定 はで、大阪の大阪の大阪の大阪の は、大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大	 「簡優者も楽」めるボーツを 検索に再えっている(高等 部)。 ①地域のスポーツクラブと連携し、「順客者ボボーツ体験教室 ・また、夏がみたはは異子を できている。自己ペストを更新 するなど、彼は大きがあり上心 がついてきている。 	状況を整拠し、各学部で共有する。 公舎和2年1月5日には、土佐市作作育館 で親子作業教室を実施する。担当教員だ けつなく、担当から児産生後や経済を負金を通じ ではなる。大会から児産生後や後裔を負金を通じ 位立る。大会について全位機会でもの らせど産生後の興味・関心を高める。	○別任者の教員を中心に、これまであまり称写後おかたかった ニュースポータ、メンポール、タグラゲーの等導入したから おり楽しか、現の組みを付着を特定した最高に高くが出た。 ②当日120名のの選生生業、現券を対象し、いくからない り、金集への移動の支援を工夫したりして取り組んだ。実年度 ・同様に影響した。これました。これました。 ③体育能が振りため、全状を含むためである。 ※ボーン大きの入場については任代を、保着料等の扱いとなったが、 大ポーン大きの入場については任代を、保着料等の最初が が開催に影響した。 して行った。	目に取り組んでいる。種目名 では初めて関心ものがあった。 新たな競技や運動をどんどん 取り入れている。	体育の種目、運動会の種目など にお魔者者で、少を敬り入れ、小字部から高等部まで系統性の ある体等の学習内容を設定する。 地域の総合ポポーツクラブと連携 し、在校生、本業生の余暇交接と してスポーツを推進する。
	働き方改革	○働き方改革の意義を 理解し、教職員相互の 思知と信頼による 業務遂行	(現状) 分常部長等の長に業務が集中しており、教育集務や字線業務の遂行にも支 確ささたしている簡単かる。 〈評価指標〉 〈各分部が委員会での業務内容の点 後を確実に行い、改善できたか、 ○共物開動務者(48時間以上/月)の相 またか。	①介室業務の平準化(分案内での業務 の分散) ②各分電・委員会での業務内容の点 ③学校行事等の企画、実施に当たり、積 30学校行事等の企画、実施に当たり、積 30年務を選択して取り組む。 3年務を選択の確認及びよう時間動務 名は時間以上の事業が 30万円。 3	①分常郎で業務の平準化、削減につかて当初画版で関き改りを行った。 ②9月の職員会で再度投げかけを行った。 ②9月の職員会で再度投げかけを行った。 ③分常内の業務の整理が未解 、 ①天時間勤務者(45時間以上)は試定特定の軟職員となっている。 ③例件り(管理職対比)を施行した。	①空感動き方弦楽の意義について所し、 共通階解を図ったが、ちにも重動が出た。 よう伍えていく、校務見配しシートを作成を 括明して中心を、実施との場合で、 経野した。 の引き続き、土曜十年相談にのる体制を被 がする。 が、中枢の完全支地に向けて、管理員の 予算を計していく。	①空命各等艦、各分章で行事や電影符覧、保留分割について で検討した。場所官を記載し、股間の第二の場合 かったは過去を持つ起こ回し、数量の負担機能を認め、 中型からは過去を持つ起こ回し、数量の負担機能を認め、 のである数率がたったとき、通動等を重量し、前等以降に ので変更があったことで、通動等を重量し、前等以降に ので変更があったことで、通動で重量し、 のである数率があったことで、通動である。	事があるために残業につながっているところもある。 子どもたちのために、授業の準備もされている。 目離しにくいところもあるが、働き方改革ということで、工夫し、	各学館、各分常の業務内容を 規化し、業務内容を整理・削減す る。主た、後額分組についても 関化し、過重に20でいないが、 平準化されているが確認する。 学校関行日を夏季休楽中に実施 初任者の自己研修日を確実に設 がる。